

株式会社アイロムホールディングス

平成25年3月期第2四半期決算説明会

平成24年12月7日
(株)アイロムホールディングス会議室

1. 会社概要
2. 平成25年3月期第2四半期累計業績
3. 平成25年3月期業績予想
4. **メディカルサポート事業**
平成25年3月期第2四半期累計実績ならびに平成25年3月期業績予想
5. **医薬品等の販売事業**
平成25年3月期第2四半期累計実績ならびに平成25年3月期業績予想
6. **SMO事業**
平成25年3月期第2四半期累計実績ならびに平成25年3月期業績予想
7. 今後の戦略
8. 戦略的パートナーシップ契約

1. 会社概要

平成24年9月30日現在

株式会社アイロムホールディングス

- 設立 平成9年4月9日
- 市場 東京証券取引所第一部(証券コード2372)
- 資本金 62億8,644万円
- 従業員数 連結:361名 (前年度比 30名増)
- 株主総数 15,465名 (前年度比 334名減)

2. 平成25年3月期第2四半期累計業績

(単位:百万円)	24/3月期 第2四半期累計 実績		25/3月期 第2四半期累計 実績 (H24.11.13公表)		
		百分比		百分比	前期比 増減率
売上高	6,612	100.0%	3,633	100.0%	▲45.1%
営業利益	110	2.4%	56	1.5%	▲49.1%
経常利益 又は損失(▲)	44	1.7%	▲45	—	—
四半期純利益 又は損失(▲)	▲305	—	405	2.9%	—

特別利益の計上による四半期純利益の黒字化

①平成24年7月27日付開示

保有不動産の有効活用により財務体質の強化を図るため、連結子会社が保有する固定資産を譲渡したことによる特別利益193百万円を計上

②平成24年8月3日付開示

資産の効率化を図るため、当社が保有する投資有価証券(未上場有価証券1銘柄)を譲渡したことによる特別利益237百万円を計上

平成25年3月期第2四半期累計セグメント別業績

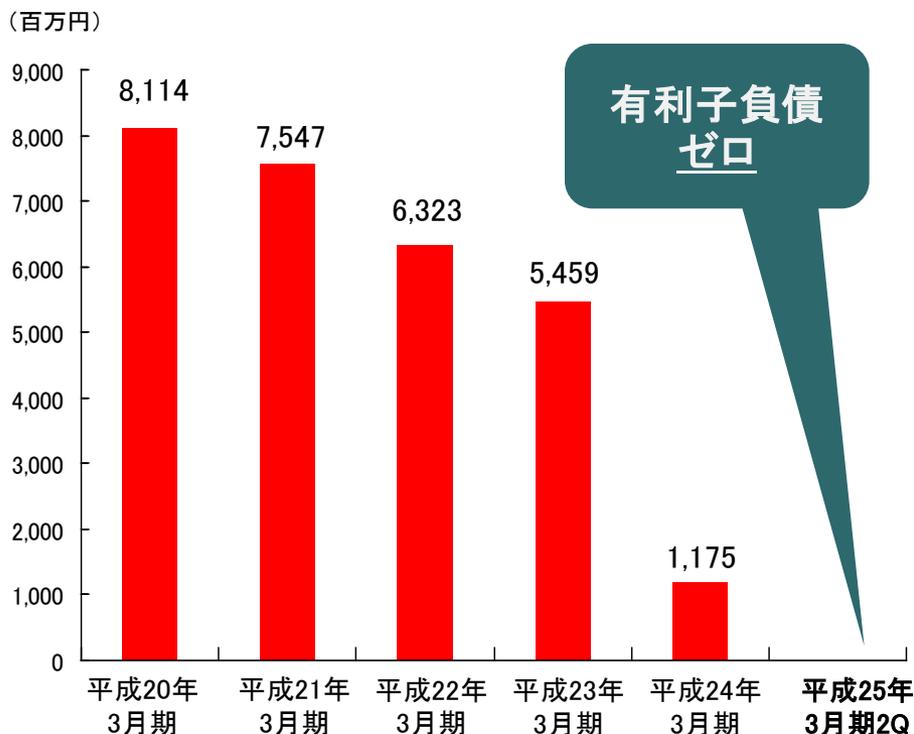
(単位:百万円)	24/3月期 第2四半期 累計実績		25/3月期 第2四半期 累計実績		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前期比 増減率
	営業利益	売上高比	営業利益	売上高比	
SMO事業	1,373	20.8%	1,480	40.8%	7.8%
	169	12.3%	129	8.7%	▲23.8%
メディカルサポート事業	254	3.8%	278	7.7%	9.3%
	▲45	—	3	1.2%	—
医薬品等の販売事業	1,904	28.8%	1,818	50.1%	▲4.5%
	42	2.2%	97	5.4%	128.5%
その他の事業	42	0.6%	55	1.5%	32.5%
	▲15	—	38	68.6%	—
	3,038 ^(※)	45.9%	—	—	—
	261	8.6%	—	—	—
合 計	6,612	100.0%	3,633	100.0%	▲45.1%
	110	1.7%	56	1.5%	▲49.1%

※ 各事業の売上高はセグメント間の内部取引を除き、合計では内部取引および全社経費を控除した上、端数調整した数字を記載しております。
平成23年11月30日付 医薬品等の製造販売事業を担うアイロム製薬㈱の当社が保有しておりました全株式を譲渡いたしました。

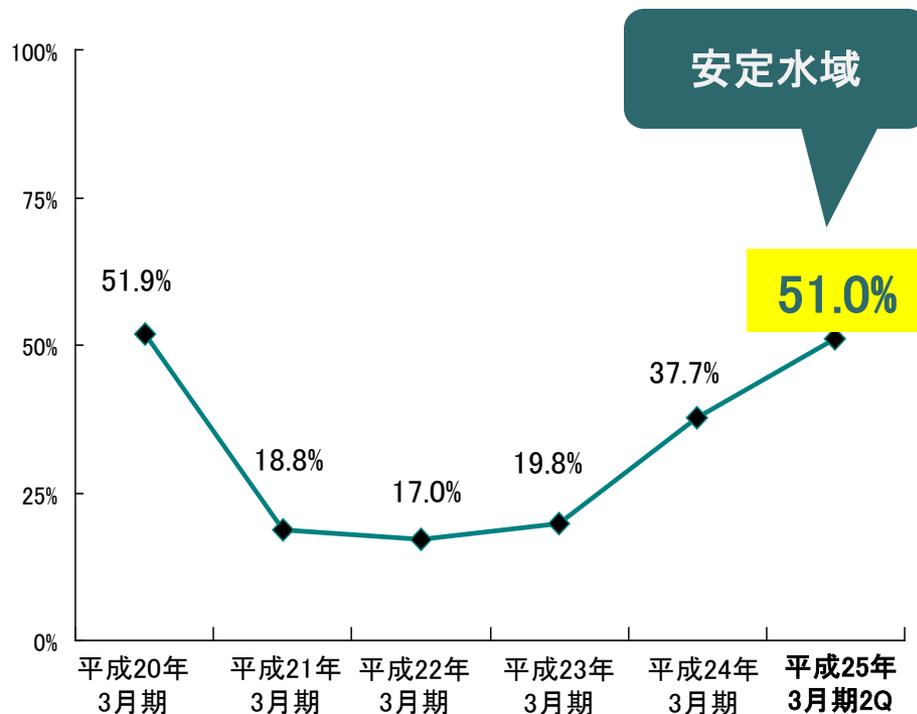
安定した財務体質へ移行

- ・有利子負債ゼロ
- ・自己資本比率の改善

有利子負債推移



自己資本比率



(単位:百万円)	21/3月期 通期実績	22/3月期 通期実績	23/3月期 通期実績	24/3月期 通期実績	25/3期 2Q実績
営業CF	▲780	345	720	▲101	▲13
投資CF	608	174	40	2,525	2,188
財務CF	▲562	▲1,249	▲852	▲2,303	▲1,175

平成25年3月期2Q ポイント

- 営業CF: 売上債権の増加
- 投資CF: 有形固定資産の売却による収入
- 財務CF: 借入金の返済

3. 平成25年3月期業績予想

(単位百万円)	24/3月期 通期実績		25/3月期 通期予想						
		百分比	H24.5.14 公表	H24.7.27 公表	H24.8.3 公表	H24.10.10 公表	H24.11.27 公表	百分比	前期比 増減率
売上高	11,018	100.0%	8,150	8,150	8,150	6,370	6,370	100.0%	74.0%
営業利益	▲432	—	110	110	110	210	210	3.3%	—
経常利益	▲1,697	—	70	10	10	60	60	0.9%	—
当期純利益	▲364	—	20	150	380	900	1,100	17.3%	—

通期業績予想の修正および理由

①平成24年7月27日付開示

保有不動産の有効活用により財務体質の強化を図るため、連結子会社が保有する固定資産を譲渡したことによる特別利益193百万円を計上

②平成24年8月3日付開示

資産の効率化を図るため、当社が保有する投資有価証券(未上場有価証券1銘柄)を譲渡したことによる特別利益237百万円を計上

③平成24年10月10日付開示

医薬品等の販売事業の事業譲渡による特別利益615百万円の計上およびメディカルサポート事業、その他事業の収益改善

④平成24年11月27日付開示

当社の連結子会社で取り扱いをしている商品の販売契約の見直しに伴い、当社が保有する独占販売権を譲渡したことによる特別利益238百万円を計上

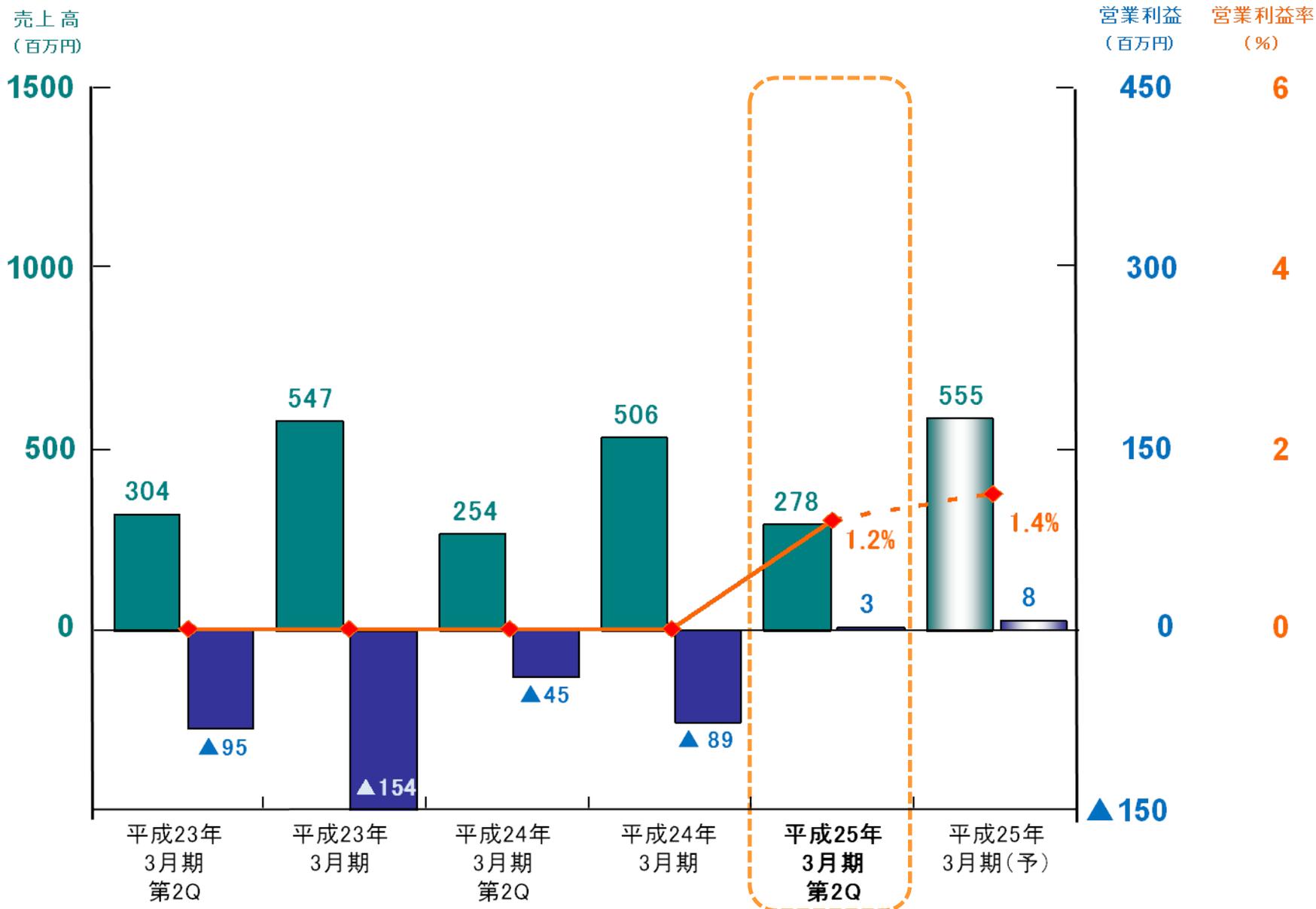
平成25年3月期セグメント別業績予想

(単位百万円)	24/3月期 通期実績		25/3月期 通期予想			25/3月期 第2四半期 累計実績	
	売上高	構成比	売上高	売上高	前期比 増減率	売上高	進捗率
		売上高比					
SMO事業	2,642	24.0%	3,378	3,378	27.9%	1,480	43.8%
	92	3.5%	416	416	352.2%	129	31.0%
メディカルサポート事業	506	4.6%	528	555	9.7%	278	50.1%
	▲89	—	▲68	8	—	3	37.5%
医薬品等の販売事業(※)	3,835	34.8%	4,202	2,397	▲37.5%	1,818	75.8%
	143	3.7%	102	62	▲56.6%	97	156.5%
その他の事業	59	0.5%	100	100	69.5%	55	55.0%
	▲162	—	▲36	64	—	38	59.4%
合 計	11,018	100.0%	8,150	6,370	▲42.2%	3,633	57.0%
	▲432	—	110	210	—	56	26.7%

※ 各事業の売上高はセグメント間の内部取引を除き、合計では内部取引及び全社経費を控除した上、端数調整した数字を記載しております。
平成24年12月1日付 医薬品等の販売事業を事業譲渡。

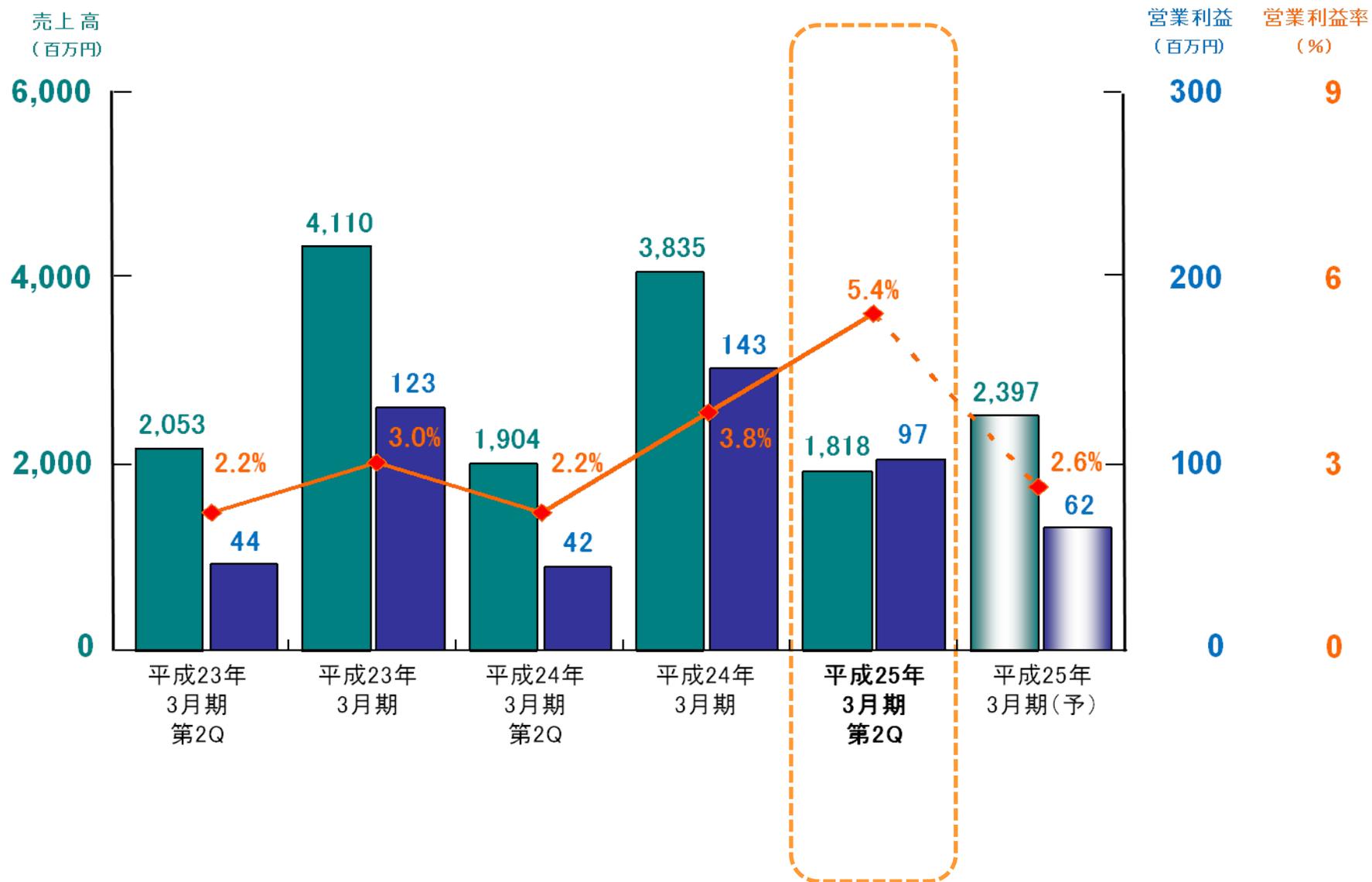
4. メディカルサポート事業
平成25年3月期第2四半期累計実績ならびに
平成25年3月期業績予想

売上高、営業利益推移(メディカルサポート事業)



5. 医薬品等の販売事業
平成25年3月期第2四半期累計実績ならびに
平成25年3月期業績予想

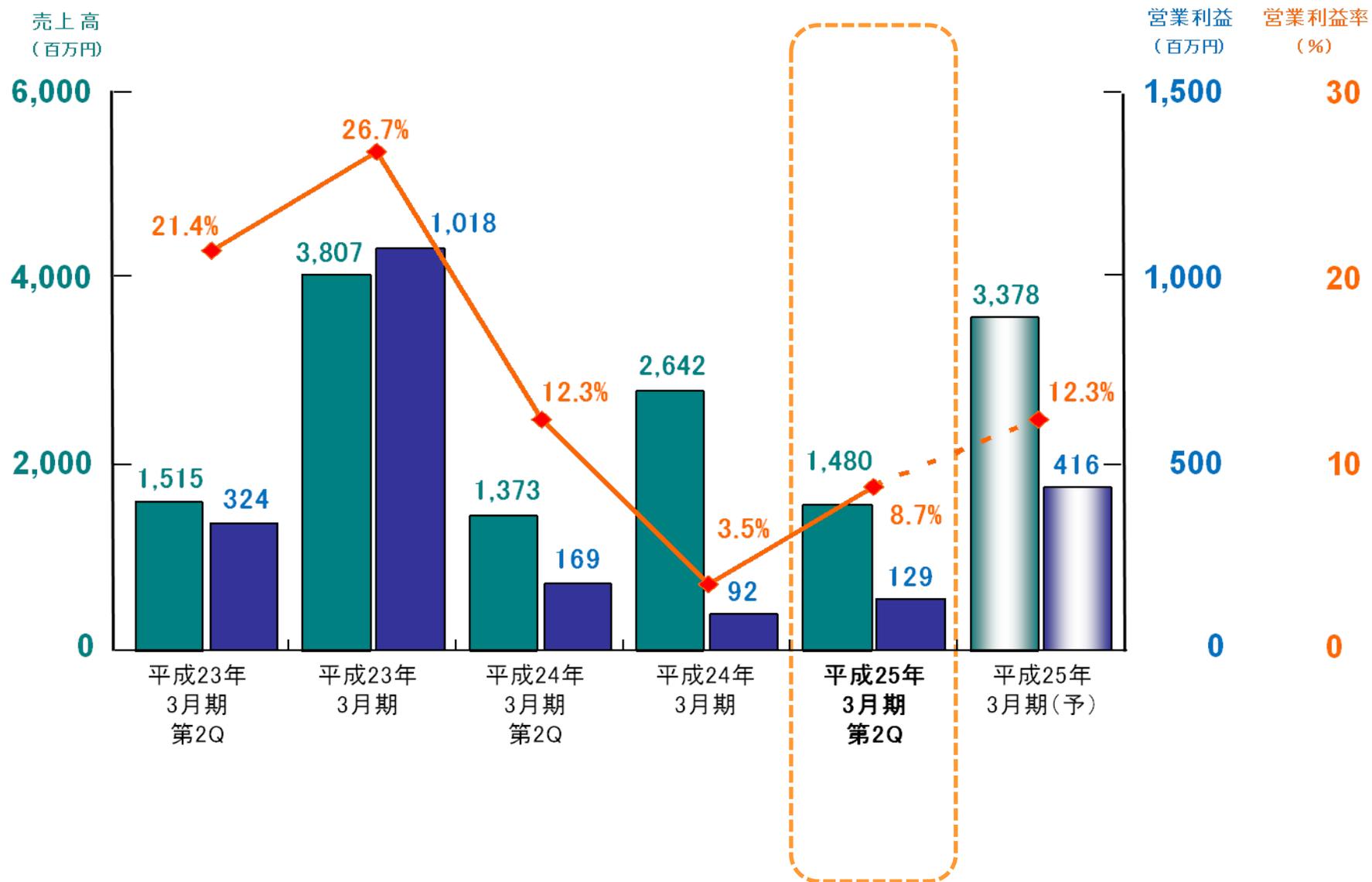
売上高、営業利益推移(医薬品等の販売事業)

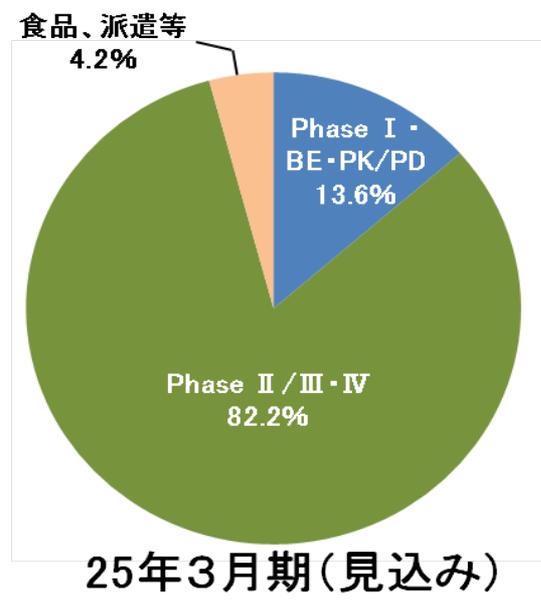
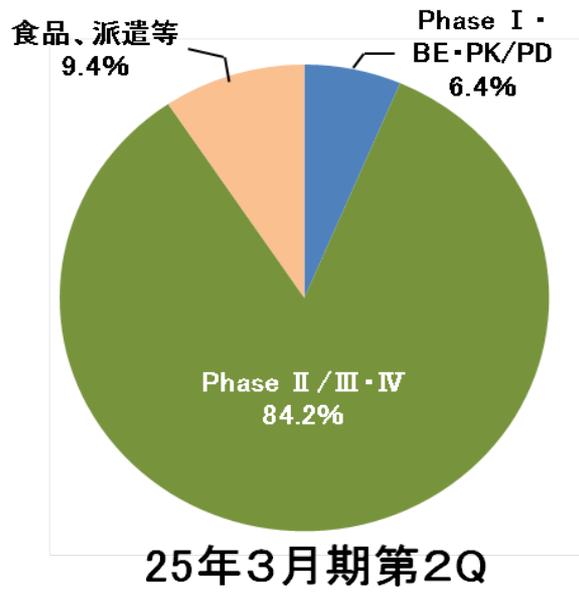
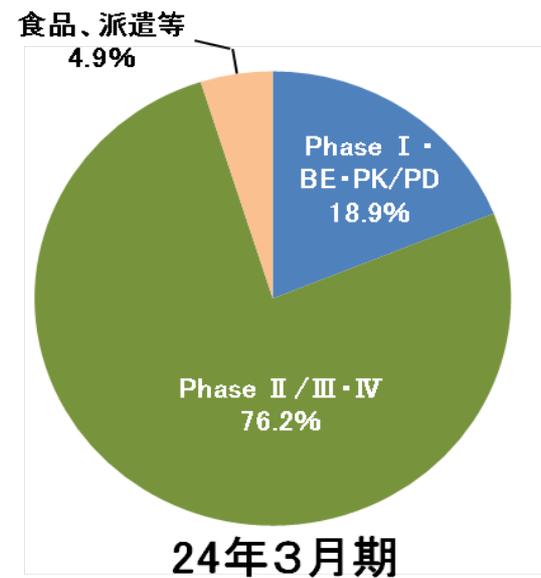
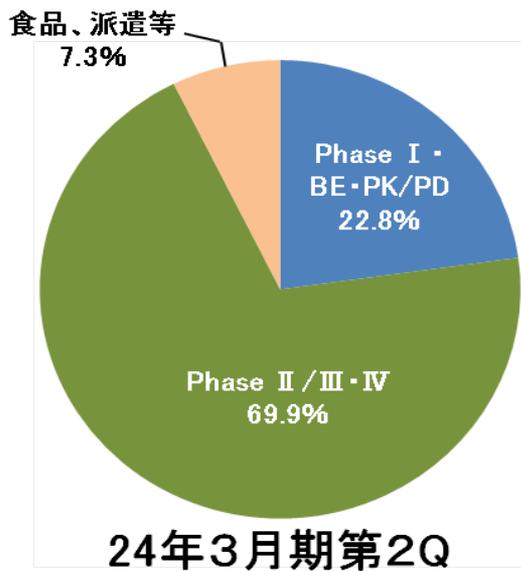


6. SMO事業

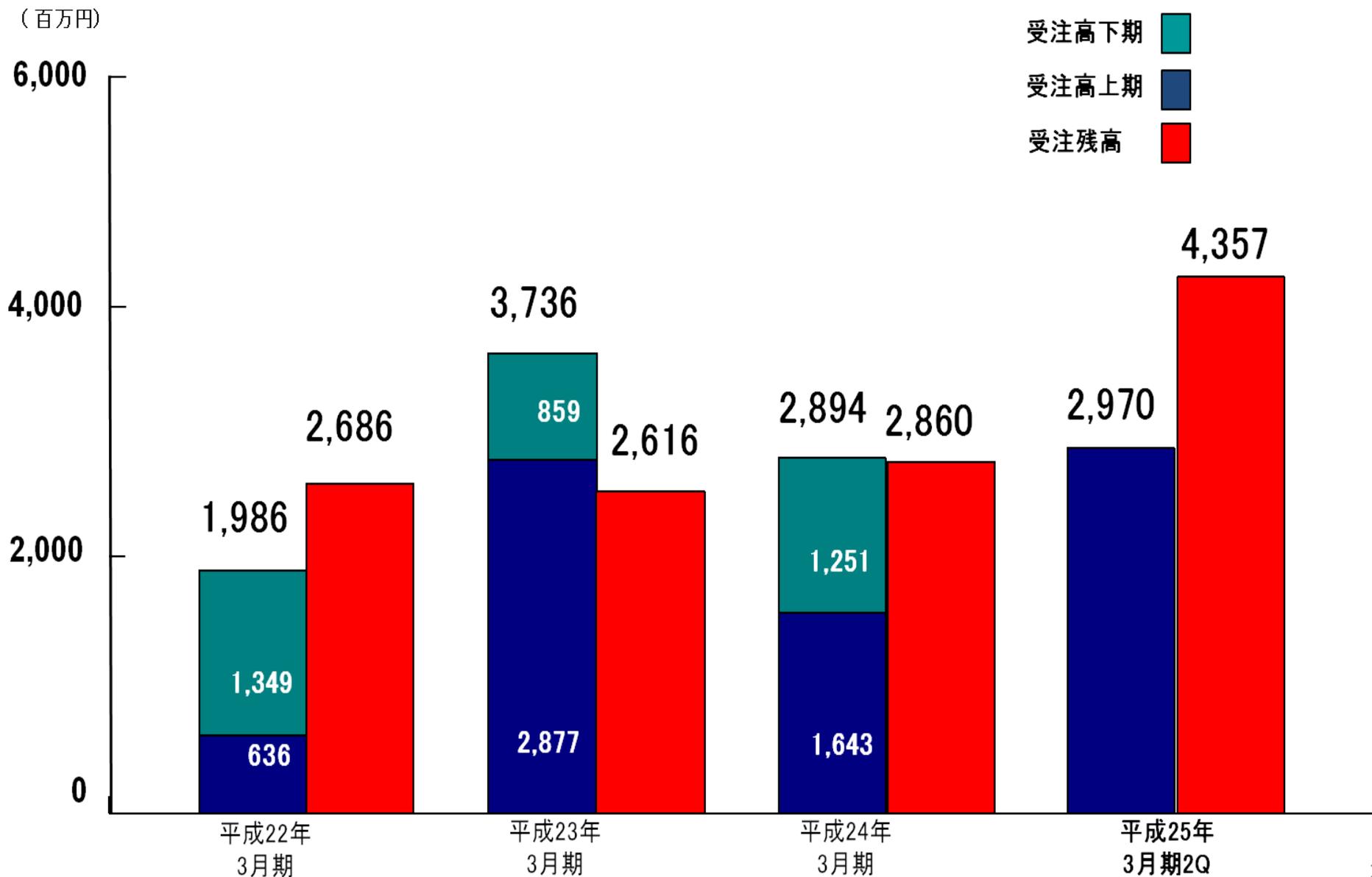
平成25年3月期第2四半期累計実績ならびに
平成25年3月期業績予想

売上高、営業利益推移(SMO事業)

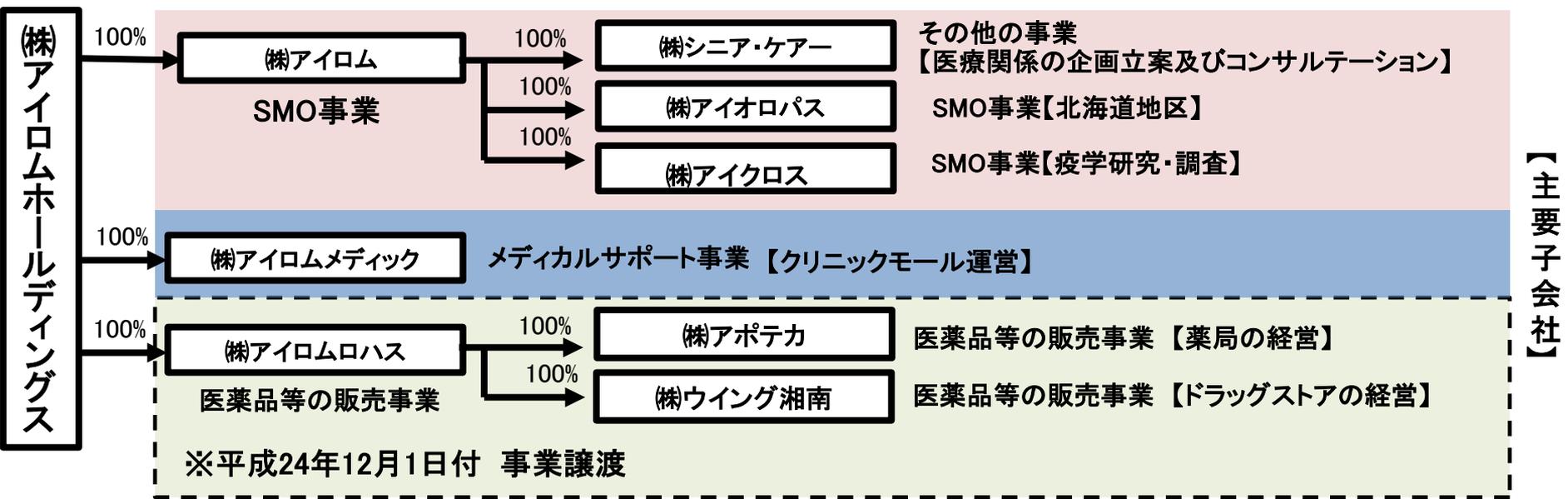




受注高、受注残高推移(SMO事業)

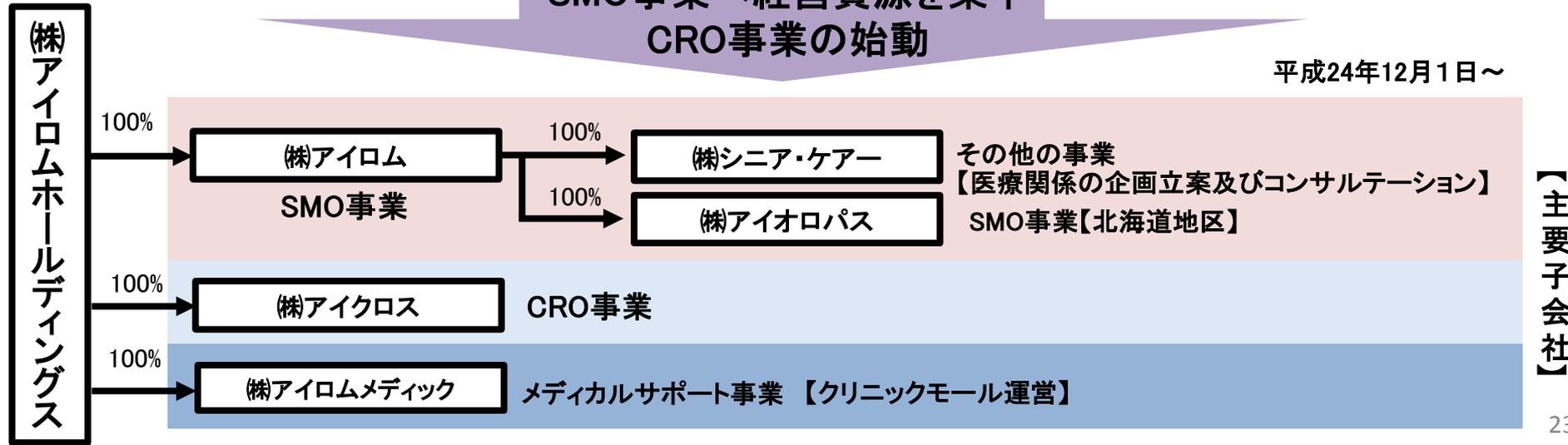


7. 今後の戦略



**SMO事業へ経営資源を集中
CRO事業の始動**

平成24年12月1日～



国内における主な提携状況

平成24年9月末
提携施設数

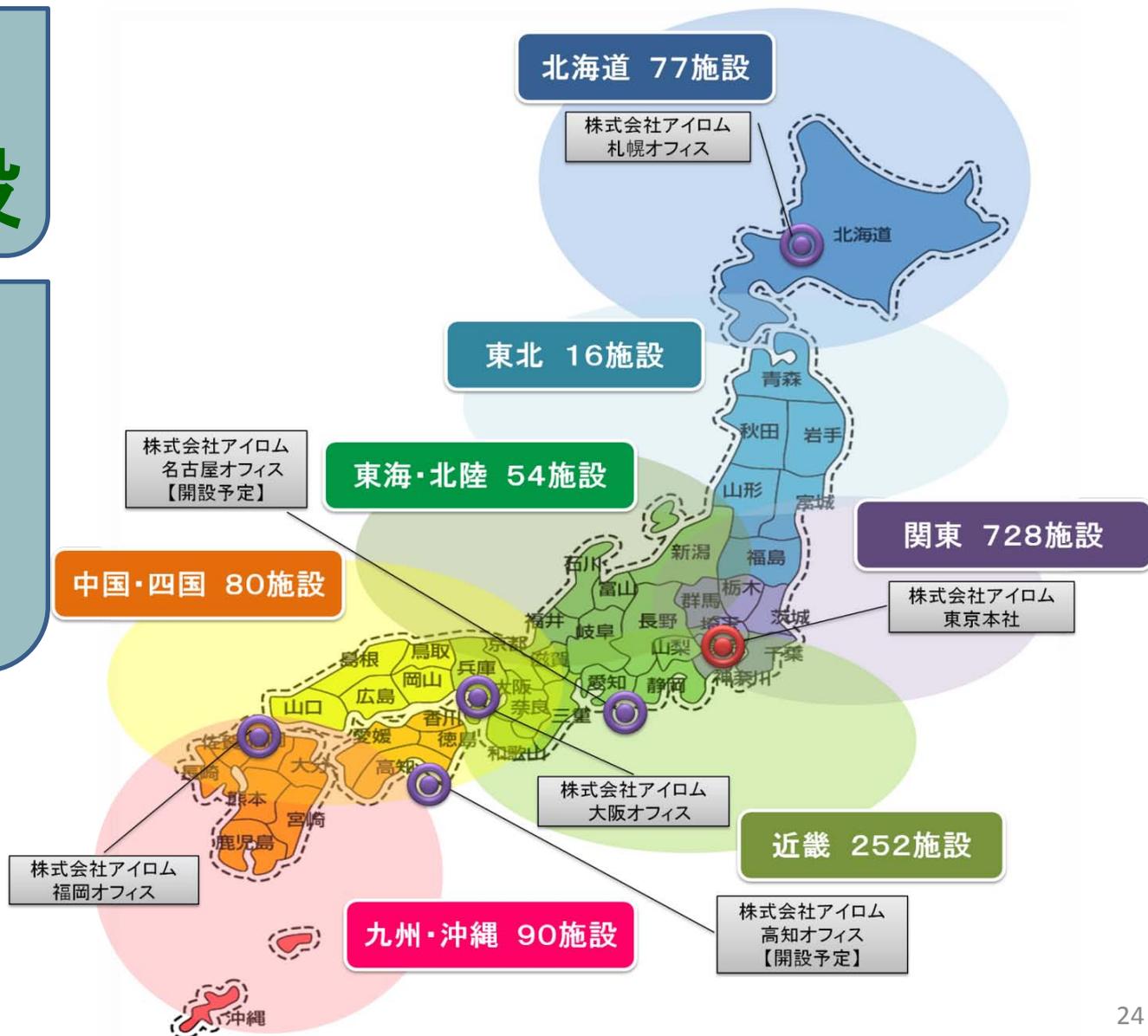
1,297施設

平成24年9月末
CRC

235人

SMA

18人

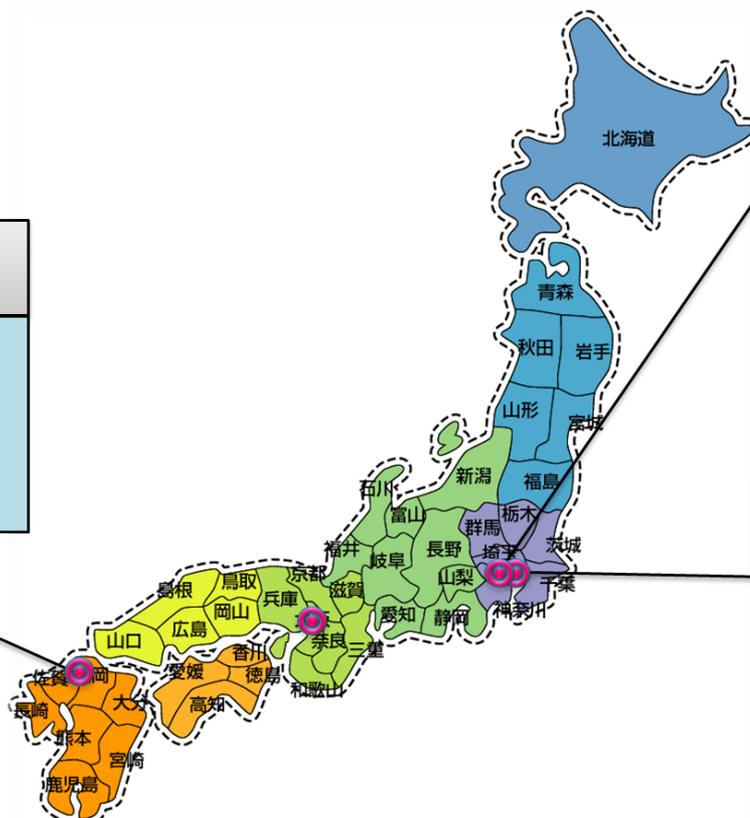


【目的】フェーズ I 試験を受注し、フェーズ II、IIIを段階的に受注確保

久留米臨床薬理クリニック
(福岡・久留米大学内)

ベッド数:
19床

実施可能試験:
BE、患者PK、P- II・III



柳橋病院
(東京)

ベッド数:
40床

実施可能試験:
P- I、BE、患者PK/PD、QT/QTc、
P- II・III

臨床試験東京病院
(東京)

ベッド数:
30床

実施可能試験:
P- I、BE、患者PK/PD、
P- II・III、POC、国際共同治験、
医師主導臨床試験、TR、
早期探索的臨床試験

上記のほか、
・五十嵐小児科 臨床治験センター(宮城、ベッド数:19床)
・山梨県立中央病院(山梨)



- ・国内における既存体制を軸に収益性の高い事業領域の拡大
- ・日本を中心に時差±2時間以内のアジア・オセアニア地域をターゲット
- ・アジア・オセアニアの拠点を通じて新たな価値を世界へ提供するための体制構築

【SMO事業～既存ビジネスによる収益の拡大】

国内外ネットワークの拡大
M&Aおよび業務提携

疾病受託領域の拡大

CRCの教育システム
～Medical Coordinatorの増員

【アジア・オセアニア地域へのネットワーク戦略】

内資の製薬会社の臨床試験支援およびコンサルテーション(欧米への進出のサポート)

提携① 平成24年5月14日付開示 Linear Clinical Research Limited (オーストラリア、ベッド数28床)

提携② 平成24年7月9日付開示 Info Kinetics Sdn. Bhd.(マレーシア、ベッド数20床)

提携③ 平成24年8月1日付開示 IDT Australia Limited(オーストラリア)

【ディナベック株式会社との戦略的提携】

遺伝子治療

(iPS細胞)再生医療

遺伝子ワクチン

提携④ 平成24年11月13日付開示 ディナベック株式会社(茨城県)

ハイブリッド型サービスとは、国内において「SMOを起点に国内でCRO業務を展開」するサービスと、海外においては「CROを起点に海外でSMO業務を遂行」するサービスの2種類に分類されます。

SMOがベースである国内におけるハイブリッド型サービス

- 国内SMOシェアの向上
- 国内SMO基盤をより強固なものにし、国内成長を基軸に多様な疾患領域をサポート

- 従来CROの業務として区分されていたサービスを、部分的にSMOが提供

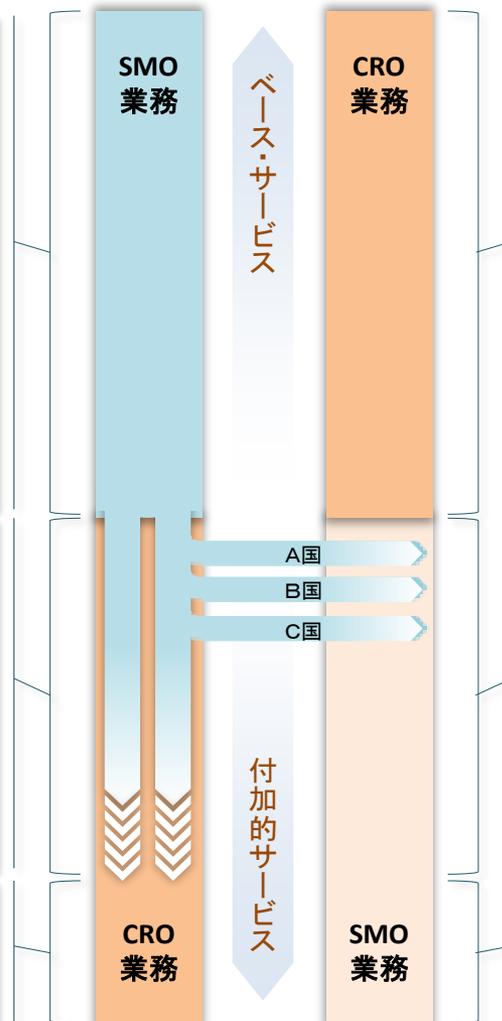
- CRO特有業務には関与をしない

CROがベースである海外におけるハイブリッド型サービス

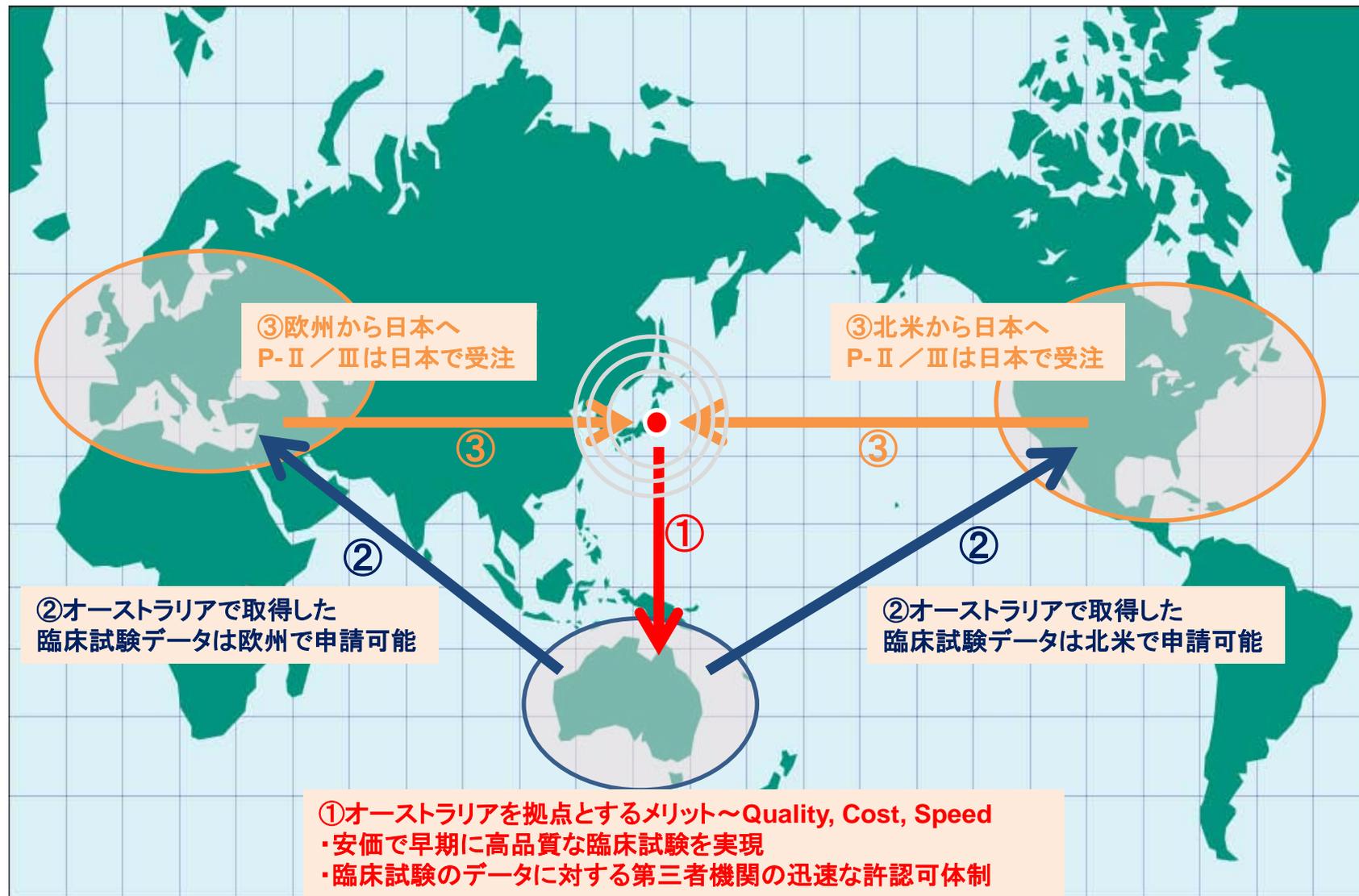
- 国・地域ごとに、進出魅力度、事業展開の可能性を調査・分析し、ビジネスの可能性を見極め、業務提携・M&A等を用いて戦略的に海外CRO業務に参入

- 日本で培ったSMOノウハウを、各国法令等に遵守した形でCRO業務と合わせて提供

- SMOノウハウ等、アイロムの強みを軸に差別化を図れない事業領域には関与しない



「選択と集中」⇒「新たなる事業領域の構築」⇒「ハイブリッド型サービスの提供」



8. 戦略的パートナーシップ契約

ディナベック株式会社との 戦略的パートナーシップ契約締結の目的

- 今般、当社と戦略的パートナーシップ契約を締結したディナベックは、特に、高性能かつ安全性の高いベクター技術を用いた遺伝子創薬と、iPS細胞関連技術を基盤とした細胞治療や再生医療の研究開発並びに事業化を目的としております。これらの技術的成果の導出並びに開発、販売等を推進するため、当社グループが保有する国内外での医療ニーズ並びに医療機関、医師等とのネットワークを通じたノウハウを提供する事で、新たなビジネスモデルを模索してまいります。
- 今般の戦略的パートナーシップ契約を通じて新たな事業の柱を構築し、ディナベックの保有する遺伝子治療や細胞工学を基にした再生医療等の最先端の医療技術に、当社グループのビジネスノウハウを提供する事で、国内外におけるその臨床研究開発成果の実用化を当社グループが牽引し、医療・医薬の革新的な進歩と改革に邁進いたします。

- 本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。
- 当社の内部要因や、当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接又は間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おき願います。